



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月23日

上場会社名 パナソニック デバイスSUNX株式会社
 コード番号 6860 URL <http://panasonic.net/id/pidsx/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理担当
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 荒谷 悦司
 (氏名) 宮下 英二
 配当支払開始予定日

上場取引所 東 名

TEL 0568-33-7211
 平成25年11月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,780	7.2	1,971	13.4	2,038	22.6	1,392	28.4
25年3月期第2四半期	19,378	△9.1	1,739	△14.1	1,661	△14.0	1,084	△1.2

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,589百万円 (66.4%) 25年3月期第2四半期 955百万円 (△3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.74	—
25年3月期第2四半期	19.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	37,124	29,632	79.3	523.42
25年3月期	36,328	28,345	77.5	500.62

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 29,455百万円 25年3月期 28,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.5	3,500	18.2	3,500	13.3	2,200	14.4	39.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	56,457,898 株	25年3月期	56,457,898 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	183,243 株	25年3月期	183,199 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	56,274,677 株	25年3月期2Q	56,275,695 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月～9月）における世界経済は、欧米では持ち直しの動きがみられたものの、中国をはじめとする新興国では減速感がみられ、世界経済全体としてはまだら模様の様相を呈しました。また、わが国経済においては、政府の経済政策への期待などにより、円安株高が進行し、景況感は改善傾向にあるものの、実体経済の確実な回復までには至っておらず、全体としては先行き不透明な状況の中で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、中国において地産地消（企画開発・調達・生産・販売・サービスの現地化）を一層進めるなど、積極的かつ継続的に経営資源を投入したことにより、中国現地向けの新商品（現地企画開発商品）が社会インフラ設備関連やスマートフォン・タブレット製造設備関連に拡大しました。その結果、海外の売上高は、為替も起因し8,767百万円（前年同期比33.9%増）となり第2四半期累計ベースで過去最高の実績となりました。一方、国内の状況は主要顧客である半導体・液晶関連、自動組立機械関連などが底打ち感はあるものの、本格的な回復には至っておらず、売上高は12,013百万円（同6.4%減）となりました。

以上の結果、売上高は20,780百万円（同7.2%増）、営業利益は1,971百万円（同13.4%増）、経常利益は2,038百万円（同22.6%増）、四半期純利益は1,392百万円（同28.4%増）となりました。

セグメント別の状況

・センシングコントロール事業（FA用センサ、PLC、プログラマブル表示器など）

中国において社会インフラ設備関連やスマートフォン・タブレット製造設備関連に中国現地向け新商品（現地企画開発商品）が拡大し、また、工場設備自動化の需要の高まりを受けて従来商品も増加いたしました。その結果、センシングコントロール事業の売上高は12,442百万円（同12.5%増）となりました。

・プロセッシング機器事業（レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置など）

中国及び台湾においてスマートフォン・タブレット製造設備関連の投資需要の高まりを受けて増加しましたが、国内の設備投資は本格的な回復に至らず、プロセッシング機器事業の売上高は、ほぼ前年並みの4,250百万円（同0.1%減）となりました。

・Eco・カスタム事業（エコ関連商品、カスタム商品など）

エコ関連商品においては、使用電力の見える化を実現した電力監視機器「エコパワーメータ」に加え、長距離・高速通信を可能にした新商品の「無線ユニット」や「コントロールユニット」など、エコ関連商品のラインナップを強化してまいりました。その結果、Eco・カスタム事業の売上高は4,087百万円（同0.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は37,124百万円となり前連結会計年度末に比べ796百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は前連結会計年度末に比べ965百万円増加し、26,327百万円となりました。主な内容は預け金が1,789百万円増加したことと現金及び預金が821百万円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ169百万円減少し、10,797百万円となりました。主な内容は有形固定資産が162百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は前連結会計年度末に比べ365百万円減少し、5,552百万円となりました。主な内容は短期借入金が500百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は前連結会計年度末に比べ126百万円減少し、1,939百万円となりました。主な内容は退職給付引当金が127百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末に比べ1,287百万円増加し、29,632百万円となりました。主な内容は四半期純利益1,392百万円による増加と、配当金の支払281百万円の減少等によります。

当第2四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより9,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,032百万円、仕入債務の増加による資金の増加239百万円、たな卸資産の増加による資金の減少128百万円等がありました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローは2,123百万円となり前年同四半期に比べ1,375百万円収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、預け金の預入による支出等により1,441百万円の支出となり、前年同四半期に比べ390百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額301百万円、短期借入金の返済による支出531百万円等により833百万円の支出となり、前年同四半期に比べ342百万円支出が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,654	4,833
受取手形及び売掛金	4,356	4,228
商品及び製品	1,875	1,999
仕掛品	471	623
原材料及び貯蔵品	2,711	2,608
預け金	8,759	10,548
その他	1,536	1,497
貸倒引当金	△3	△11
流動資産合計	25,362	26,327
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,828	3,828
その他(純額)	5,882	5,719
有形固定資産合計	9,710	9,548
無形固定資産		
投資その他の資産	414	425
その他	849	823
貸倒引当金	△8	—
投資その他の資産合計	840	823
固定資産合計	10,966	10,797
資産合計	36,328	37,124
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,413	2,665
短期借入金	500	—
未払金	870	781
未払費用	575	527
未払法人税等	649	551
賞与引当金	746	949
役員賞与引当金	6	1
その他	155	76
流動負債合計	5,917	5,552
固定負債		
退職給付引当金	1,959	1,832
その他	106	106
固定負債合計	2,065	1,939
負債合計	7,982	7,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,155	3,155
資本剰余金	10,534	10,534
利益剰余金	14,178	15,289
自己株式	△64	△64
株主資本合計	27,804	28,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	37
為替換算調整勘定	332	502
その他の包括利益累計額合計	367	539
少数株主持分	173	177
純資産合計	28,345	29,632
負債純資産合計	36,328	37,124

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	19,378	20,780
売上原価	13,466	14,621
売上総利益	5,912	6,158
販売費及び一般管理費	4,173	4,186
営業利益	1,739	1,971
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	1	1
受取地代家賃	18	16
為替差益	—	33
その他	3	6
営業外収益合計	31	77
営業外費用		
支払利息	11	5
為替差損	77	—
不動産賃貸費用	3	3
その他	16	3
営業外費用合計	109	11
経常利益	1,661	2,038
特別利益		
固定資産売却益	1	4
特別利益合計	1	4
特別損失		
固定資産除却損	14	10
社名・ブランド変更費用	11	—
特別損失合計	25	10
税金等調整前四半期純利益	1,638	2,032
法人税、住民税及び事業税	585	662
法人税等調整額	△41	△40
法人税等合計	544	622
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093	1,409
少数株主利益	8	17
四半期純利益	1,084	1,392
少数株主利益	8	17
少数株主損益調整前四半期純利益	1,093	1,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	2
為替換算調整勘定	△133	177
その他の包括利益合計	△138	179
四半期包括利益	955	1,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	954	1,564
少数株主に係る四半期包括利益	0	24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,638	2,032
減価償却費	617	603
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△132	△126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	182	202
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△20
為替差損益 (△は益)	40	△9
支払利息	11	5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	12	6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,963	165
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△619	△128
仕入債務の増減額 (△は減少)	122	239
未払金の増減額 (△は減少)	104	△57
その他	81	△35
小計	4,006	2,871
利息及び配当金の受取額	10	20
利息の支払額	△11	△5
法人税等の支払額	△507	△762
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,498	2,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△5,000	△6,000
預け金の払戻による収入	—	5,000
定期預金の払戻による収入	3,600	—
有形固定資産の取得による支出	△369	△309
有形固定資産の売却による収入	7	25
無形固定資産の取得による支出	△69	△156
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,831	△1,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△210	△531
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△281	△281
少数株主への配当金の支払額	—	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491	△833
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112	117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,063	△32
現金及び現金同等物の期首残高	8,182	9,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,245	9,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に製品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「センシングコントロール事業」、「プロセッシング機器事業」、「E c o・カスタム事業」の3つを報告セグメントとしております。

「センシングコントロール事業」は、F A用センサ、P L C、プログラマブル表示器等を、「プロセッシング機器事業」は、レーザマーカ、画像処理機、紫外線硬化装置等を、「E c o・カスタム事業」は、エコ関連商品、タイマ、カウンタ、カスタム商品他等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,060	4,255	4,062	19,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	11,060	4,255	4,062	19,378
セグメント利益	1,882	329	390	2,602

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	センシング コントロール	プロセッシング 機器	E c o・カスタム	合計
売上高				
外部顧客への売上高	12,442	4,250	4,087	20,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	12,442	4,250	4,087	20,780
セグメント利益	2,168	338	331	2,838

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,602	2,838
全社費用(注1)	△885	△845
調整額(注2)	22	△20
連結財務諸表の営業利益	1,739	1,971

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) 調整額は、主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差異であります。